

職場に飛び交う愛言葉

ご安全に!

大分労働基準監督署 安全衛生課

870-0016

大分市新川町2-1-36大分合同庁舎2階

097-535-1513

管轄区域

大分市・別府市・杵築市・由布市・国東市
速見郡日出町・東国東郡姫島村



労働災害は増加傾向

高齢労働者の災害防止へ取組を!

令和6年の管内の死亡労働災害は10月末の時点で4人で、前年比で1人少なくなっています。また、休業4日以上労働災害は、10月末で570人（コロナウイルス患者除く。）と前年同月比で30人増加（5.6%増）しました。

建設業で災害が約22%減少している反面、清掃と畜業で37%、保健衛生で22%など、第三次産業で増加しています。

休業4日以上の死傷者数を年齢別でみると、50歳以上の労働者の災害で半数以上を占めています。死亡災害4人のうち3人は50歳以上の方でした。事故の型別では、転倒が最も多く、次いで墜落・転落、無理な動作（腰痛等）の順となっています。

人手不足を背景に働く高齢労働者が増えています。60歳以上の労働者はこの10年間で1.5倍以上に増加しています。定期健康診断はもちろんのこと、高齢労働者が職場で気づいた安全衛生上のリスクや働くうえで負担に感じていることなど何でも話し合える職場風土づくりに努めてはいかがでしょうか。また職場の安全衛生委員会において、厚生労働省作成の「転倒等リスク評価セルフチェック票」を活用して、体力測定を行う等して、高齢者の健康や体力等の特性にも配慮し、必要に応じて作業内容の見直しを行う取組を行っていくことも災害防止の近道です。



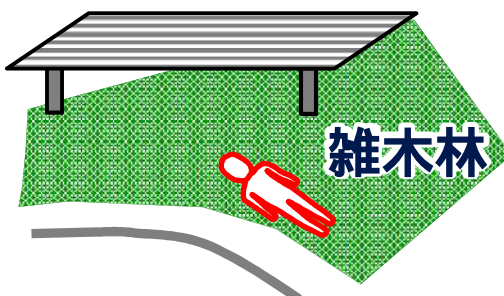
～ 9月の死亡労働災害～

製造業で死亡災害発生

～ 80歳代の労働者が転倒災害で死亡～

令和6年9月、管内の製造業において死亡災害が発生しました。太陽光発電所の見回り点検を一人で行っていたが、同日事務所に帰ってきませんでした。翌日に発電所近くの雑木林で倒れているのが発見されたものです。

被災者は80歳代の労働者で、点検作業中に何らかの原因で転倒して被災したものと、現在、事業場に対して原因究明・対策を指導しています。



「ご安全に！」は、大分労働局HPに掲載されています

令和6年 労働災害発生状況

大分署管内コロナ除く

10月末速報値	令和6年		昨年同期		増減	
	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷
全業種	4	570	5	540	1	+30

<業種別内訳>

業種	死亡	死傷	死亡	死傷	増減(死亡)	増減(死傷)
製造業	2	68	1	65	+1	+3
建設業	0	73	4	94	0	-21
運輸交通業	2	54	0	69	+2	-15
農林業	0	20	0	13	0	+7
他の産業	0	4	0	3	0	+1
第三次産業	0	351	0	296	0	+55
商業	0	98	0	91	0	+7
保健衛生業	0	94	0	77	0	+17
接客娯楽業	0	52	0	56	0	-4
清掃・と畜業	0	48	0	35	0	+13

上表の統計は、労働者死傷病報告により10/31現在と前年の労働災害の発生者数を比較集計したものの、他の産業とは、鉱業・貨物取扱・畜産水産の合計。

塗装作業の爆発災害等の防止対策は万全に!

県内の造船所において、艀装船の機関室で爆発が発生し、塗装作業を行っていた労働者1名が死亡する災害が発生しました。発生原因等については、現在、所轄労働基準監督署で調査中ですが、通風が不十分な場所で塗装作業が行われた場合には、同種の爆発災害や有機溶剤中毒が発生するおそれがあり、一旦同種災害が発生すれば、重篤な労働災害となるものです。

当署管内では一酸化炭素中毒も発生



イラストはイメージで、実際の災害発生状況とは異なる。

当署管内においても、令和6年9月、小売・飲食業において、ガスコンロで調理中に一酸化炭素中毒により2人が休業する災害が発生しています。原因はガスの不完全燃焼によるものであり、換気が十分でなかったことが判明しました。

引火性の物の蒸気、可燃性ガス又は可燃性の粉じんが存在して爆発又は火災が生ずるおそれのある場所については、当該蒸気、ガス又は粉じんによる爆発又は火災を防止するため、通風、換気、除じん等の措置を講じる等の措置が必要となります。今一度、確認をお願いします。



【閑話休題】危険有害性を表すピクトグラムですが、これは何を意味しているのでしょうか。（答えは裏面）

大分労働局 ご安全に

検索



「見える化」で職場での行動災害（転倒・腰痛等）を減少させよう。

厚生労働省において、令和5年度に労働災害防止対策を実施している企業、団体の皆様からその取り組み内容を応募いただき、一般投票などを行い、転倒災害防止部門で表彰された事例をご紹介します。今回は社会福祉法人東北福祉会 せんだんの社の事例をご紹介します。

当署においては「行動災害ゼロ運動」を展開中です。「安全の見える化事例」を募集しておりますので、皆様の企業で行っている取組事例をぜひ教えて下さい。



安全の見える化事例



社会福祉法人
東北福祉会
せんだんの社

効果絶大!!

職員で作る転倒防止ハザードマップ

事業者名：社会福祉法人東北福祉会
業界・業種：医療・福祉
従業員規模：およそ550人
地域：東北/宮城

1. せんだんの社の転倒事故事例



せんだんの社の位置する仙台市青葉区 国見ヶ丘は、市内でも比較的標高が高く、雪が多い地域。



朝・夕の通勤時等、通勤ルートや駐車場での転倒事故が多発しました。

2. せんだんの社 転倒防止ハザードマップ



衛生委員会の取組で
職員が自作してくれた
ハザードマップ

過去の労災事例や、歩行以外の注意点も記載され、写真付きで実用的でした。

3. ハザードマップ活用効果

- ◆設置場所
出退勤時利用する通用口の掲示版など職員が毎日利用する場所
- ◆効果
1) 職員が危険な場所を把握しやすくなりました。
2) ハザードマップを日々目にする事で、転倒防止の意識付けとなりました。
3) ハザードマップ設置後、職員転倒事故が減少しました。特に冬季の効果は絶大です。
- ◆付加価値
職員の代表者である委員が作成したことで「職場からやらされている」ではなく「自分たちが作った」という当事者意識が生まれ、他の安全活動にも繋がりました。

4. 自分たちと会社で取り組む、安心・安全な職場作り



令和6年11月1日からフリーランス新法（フリーランス・事業者間取引適正化等法）が施行されています！

近年、働き方の多様化が進み、フリーランスという働き方が社会に普及してきた一方で、フリーランスが取引先との関係で様々な問題やトラブルを経験していることが明らかになっています。

そこで、この法律は、発注事業者において、業務委託を受けるフリーランスを対象として、取引の適正化を図ること、ハラスメント防止などの就業環境の整備を図ることを目的としています。

[新法のポイント説明YouTube動画はこちら](#)



大分労働局 雇用環境・均等室 〒870-0037 大分市東春日町17番20号 .097-532-4025



【答え】



可燃性・引火性ガス、エアゾール、引火性液体、可燃性固体、自己反応性化学品、自然発火性液体・固体、自己発熱性化学品、水反応可燃性化学品、有機過酸化物を意味します。労働安全衛生法では危険有害性の表示が義務付けられています。

【編集後記】

管内で定期賃金や残業代不払いの申告相談が増え、倒産時の立替払申請も増加している。要因は様々だが、コロナ不況や昨今の物価高の影響も大きい。10月5日からは大分県最低賃金が1時間954円に引き上げられ、此方も遵守を。海の向こうでは戦乱が続き不穏、次期大統領が選ばれ日本への影響も少なくない。如何なる状況でも、災害ゼロで法令・雇用を守ってほしい。

今年の「県民ノー残業デー」は、
11月20日（水）です